

とよやま

TOPICS
P3

町で見つけた節電への取組みアレコレ

全員協議会での行政報告	4
10人が一般質問	5~14
東日本大震災への町の対応は	6
伊勢山交差点東側の整備は	10
新コーナー 友遊悠	16

議会だより

NO.117

6月定例会

発行：愛知県豊山町議会
平成23年8月1日

暑さに負けず ガンバロー! (豊山小学校)

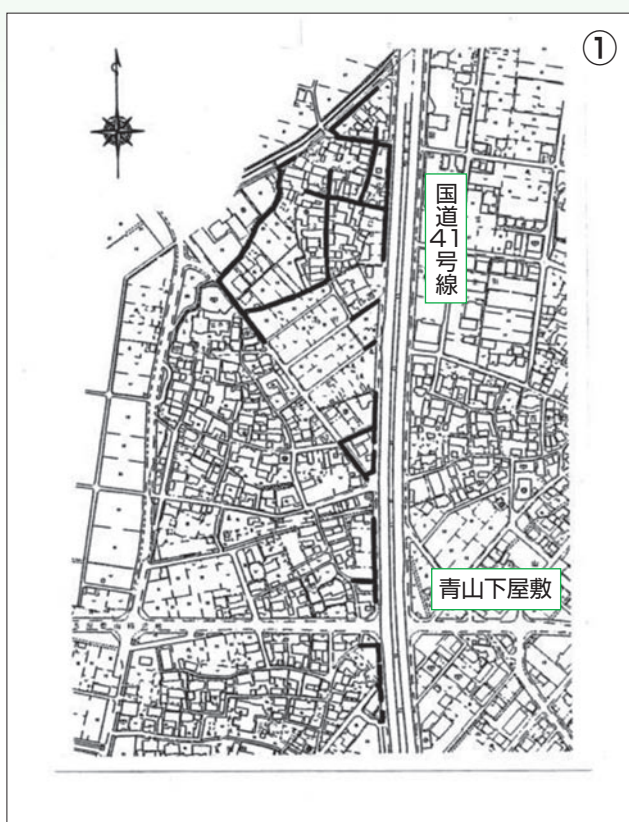


下水道工事契約の締結 全員賛成で同意

町内3か所の平成23年度の下水道工事契約の締結について、
全員賛成により同意された。工事の場所は次のとおり。

工事場所	①青山地内 江川地区、北浦地区	②青山地内 江川、下屋敷、高添地区	③豊場地内 高前地区
路線	町道2号線外14路線	町道222号線外11路線	町道358号線外4路線
工期	平成24年3月19日	平成24年3月19日	平成24年3月19日
契約金額	7791万円	9240万円	5806万5千円
請負者	共立建設(株)	(資)安藤組	(株)秋田組

■工事箇所



議決されたその他の議案

議案	採決	結果
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	全員賛成	可決
税条例の一部改正	全員賛成	可決
ラブホテル建築規制条例の一部改正	全員賛成	可決
下水道条例の一部改正	全員賛成	可決
平成23年度一般会計補正予算(第1号)	全員賛成	可決
平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全員賛成	可決
議会議場国旗及び町旗掲揚条例の制定	継続審査	

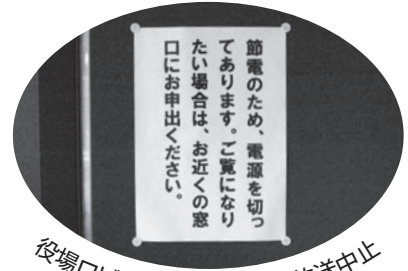
農業委員会委員に、大口司郎議員を議会推薦した。

その他、平成22年度繰越明許費*繰越計算書、尾張土地開発公社の経営状況について報告があった。

*繰越明許費:年度内に支出が終了しない見込みの経費で、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に繰り越し使用できるもの

町で見つけた

節電への取組み



役場ロビーの大型テレビは放送中止

日本各地で省エネの取組みが広がっている。東日本大震災で原発が止まり、東北、東京、中部、北陸で電力不足が心配されている。このため、家庭と企業は15%の節電努力を迫られている。そこで、町内の節電事情アレコレを紹介する。



さざんかの屋上緑化



役場でも緑のカーテン



30年エアコン不用の緑のカーテン

アレ
コレ



井戸水を利用して散水中



個人の家庭でも太陽光発電

全員協議会での行政報告 (6月6日開催)

動き出したごみ焼却工場建設、私たちの環境への影響は

現在、私たちが出しているごみは昭和48年から、一部事務組合の環境美化センターで処理してきたが、施設の老朽化により、名古屋市、北名古屋市及び豊山町が共同で焼却工場の整備計画をたてた。

したがって、その手続として都市計画の素案及び環境影響評価方法書を作成。同時に説明会等を開催し、広く意見を求め、環境の保全に十分配慮したごみ焼却工場を建設するものである。

ちなみに、環境調査の主な項目は、二酸化硫黄、窒素酸化物、有害物質（ダイオキシン類）、粉じん、風向き、風速、騒音振動、交通、悪臭、水質、その他。

地域密着型「とよやまタウンバス」益々便利に

豊山町の地域公共交通のありかたについて、「豊山町地域公共交通総合連携計画」が、今年3月に発表された。住民アンケートを基に、公共交通の問題点を明らかにし、将来に向けた計画作りを行う。調査の結果から浮かび上がってきた課題に対して、具体的な施策を設定。豊山町の公共交通環境の向上に役立つ計画に期待したい。

復興に向け、東北に路線広がる

FDAが、5月11日、いわて花巻線及び青森線に就航を発表。

1、いわて花巻線

便数:8月1日からは1日1便(往復)
運賃:大人 片道2万9800円

2、青森線

便数:8月1日からは1日1便(往復)
運賃:大人 片道3万1800円

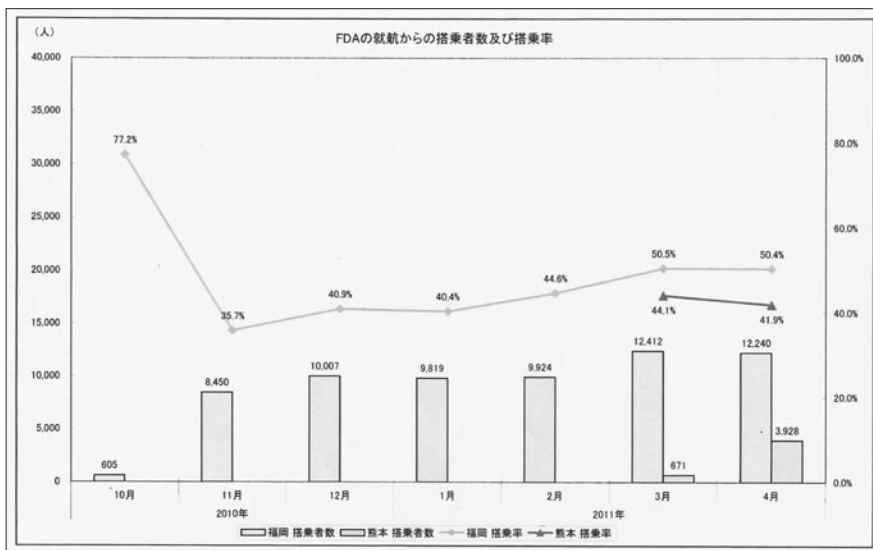
(往復6千円、片道3千円の町助成金を利用してください。)

福岡線の搭乗者数は、徐々に増えているが採算ラインには至っていない。熊本線については、ツアー旅行以外の利用が少ない。

なお、名古屋空港利用促進助成金の申請実績は

4月 26件 19万5千円

5月 55件 40万2千円



町のホームページから会議録がご覧いただけます

町議会 をクリック

<http://www.town.toyoyama.lg.jp/>

議会の傍聴に来てください

次回の定例会は、9月5日(月)
午前9時30分開会予定

Q. 豊山タウンバスに敬老割引を

A. 現時点において 導入は考えていない



水野 晃 議員



タウンバスますます便利に

Q 高齢化社会が着実に進んでいる現在において、高齢者の活力向上のため、福祉行政のさらなる前進のために、豊山タウンバスの敬老割引が必要と考える。

一人でも多くの方が、1回でも多く利用できるような制度を望む。

A 現行のタウンバス運賃は、高齢者等の負担軽減といった面

も含めた設定である。また、住民アンケートでは、運賃の軽減よりもむしろサービスの充実を望む声が多く上がっている。

以上の点から、適正な受益者負担のもとで、運行情系等を一層充実させていくことが、より優先度が高いと判断している。したがって、現時点においては、敬老割引制度の導入は考えていない。

Q. ブックススタート事業の実施は

A. 赤ちゃん広場で

講座を計画している

Q 地域で生まれた全ての赤ちゃんに絵本を贈って、絵本を通じて親子のふれあいを深めてもらう。

これが、ブックススタートである。0歳児健診の機会を使って行う事業をほんとうに実施しなくていいのが。

A 現在、「ブックススタート」そのものの事業形態での実施は行っていないが、平成17年2月以降、保健センターでは、この事業趣旨・理念に基づく事業として、10か月健康診査等において、赤ちゃんと保護

者1組ごとに、読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせをしている。その時に子育てに役立つ資料等の手渡し配布をし、親子で絵本を開く時間の楽しさを体験してもらったための取り組みを行ってきた。また、今年度の赤ちゃん広場では、読み聞かせと図書室の絵本リストの紹介、図書室利用の仕方等の講座を計画している。

Q. 名古屋空港利用促進事業の正当性を聞く

A. 県営名古屋空港の利用促進が目的



熊沢 直紀 議員



いってらっしゃい

Q

平成23年度より、県営名古屋空港に就航している路線の利用者に対し、大人6千円、子ども3千円の助成を行い、助成回数に関しては制限がされていないが、フジドリームエアラインズは民間企業であり、現在、定期的に就航しているのは1社だけである。その一民間企業の営業をバックアップするために公金を使い援助することの正当性を問う。

A

この事業は、町の県営名古屋空港利用に対しての助成であり、空港の利用促進を図ることを直接の目的としている。
空港の利用者減は、航空路線の廃止だけでなく、バス路線の廃止や空港周辺商業施設の利用者の減少などを招き、地域活力の低下につながる。
助成を行うことには十分な公益性があり、正当な支出であるものと考える。

Q. 東日本大震災への町の対応は

A. 支援物資を送るとともに

職員1名を派遣

Q

先の3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方沿岸に多大な災害をもたらしたが、当町公営住宅の入居者受け入れ状況はどうか。
人的派遣又は、物的・金銭的援助はどのような対応をしたのか。

先の3月11日に発生した東日本大震災は、東北地方沿岸に多大な災害をもたらしたが、当町公営住宅の入居者受け入れ状況はどうか。

0食を被災地へ送った。個人、企業等からの支援物資の受付窓口を設置し、41箱分の支援物資を被災地へ送った。
義援金については、480万円余を、日本赤十字社に送金した。

A

公営住宅への入居者はない。
人的派遣として5月13日から5月21日まで、職員1名を宮城県仙台市泉区役所に派遣した。
物的支援としては町の備蓄物資のうち乾パン480食とアルファ米40



Q. 神明公園に小児用トイレを A. 小児用トイレへの取替えは 考えていない

坪井 武成 議員



改造が待たれるトイレ

Q 航空館プールの男子用トイレに子ども用がない。

便器は3つあるが全部大人用。公園側には子ども用はあるが、高さ37センチで高すぎる。幼児でも使用できる下からの器具に改善を。

A 神明公園、航空館の小児用トイレへの改良については、現在のところ取替えは考え

ていない。

小さなお子さんについては、全ての利用者に対応した多目的トイレもしくは和式便器の利用をお願いする。

低年齢のお子さんのトイレ利用については、トイレでのいたずら被害の未然防止のためにも、保護者同伴によるトイレ利用が望ましいと考えている。

Q. 災害対策は 大丈夫か

A. 計画に基づき 各自治体とともに 対策を講じる

Q 現代の生活様、地球環境の変化からか、時間雨量100ミリを越す大雨が、毎年各地で観測され大災害となっている。時間雨量70ミリの東海豪雨でも大山川堤防を越水するほどの恐ろしさ。原因は、降雨量と上流の宅地化による遊水池の減少。

今後は、東海豪雨以上の災害が発生することは明らか。町民の生命・財産を守るため是非とも国、県に上流での雨水処理対策を強く求められたい。

① 桃花台方面
② 基地内

③ 空港内

④ その他上流

A ①小牧市も本町と同様に、浸水被害対策が講じられていると考える。

②③今年度、防衛省の補助事業で防衛施設をはじめ、都市化の進展を含めた形質の変更などの調査を実施する。

④上流に位置する河川管理者、下水管理者が「特定都市河川浸水被害対策法」に基づき「新川流域水害対策計画」を策定し、この計画に基づき各自治体が対策を講じると考える。

Q. 公共施設や街路灯をLEDに転換する計画は

A. できるものからLEDに転換する



栗田 昌子 議員

Q 省エネ対策のため、本町は太陽光発電システム設置を進めている。また、役場や公共施設では節電対策が実施されている。省エネと耐久性のあるLEDへの転換は。

りな工事が必要なケースもある。十分に検討をしながらLED照明へ転換していく。
防犯灯を新設する場合や、老朽化した水銀灯の器具を交換する際には、LEDの防犯灯を設置する

A

役場庁舎には、すでにLED電球に交換できるような照明器具はない。

節電には、LED照明が有効だが、天井を壊して器具を入れ替える大掛か



LEDになった防犯灯

Q. 臨時保育士は

時給制でなく月給制に

A. 待遇改善は

賃金だけに限る

ものではない

Q

人間の基礎が確立される乳幼児期、

保育士は母親に代わって長時間にわたり子育てという大事な役割を担っている。優秀な保育士を確保するためにも、保育内容の充実のためにも、保育士総数の3分の2を占める臨時保育士の待遇は見直さなければならぬ。北名古屋市は、保育士の給与と制度を月給制にして1週間の勤務を37.5時間とした。本町でも、以前のように月給制に戻すべきである。

A

臨時保育士の勤務条件等については

は、豊山町非常勤職員等に関する取扱要綱により運用し、賃金については、民間のパートタイマー職員と同様に実労働時間に対する対価としている。待遇改善については、正職員と同様に休暇等の制度を整備し、非常勤職員が働き続けられる環境づくりに努めている。

『その他の質問』
児童遊園に
高齢者向け遊具を

Q. 防災対策の調査、見なおしを

A. 災害時の状況に適した 対応をしていく



岩村 みゆき 議員

Q

東海地方にも、いつ大災害がおこるかもしれない。このたびの東日本大震災を教訓に、「想定外」という言葉が出ないようにしていくことが、今後の私たちの課題であり役目であると考えてる。そこで、

①防災無線について、スピーカーは近くにあるが、何を言っているのか聞きとれないとの話を聞いた。調査・見なおしをどのようにつづけるか。また、災害時の広報活動はどのようになっているか。
②避難所における備蓄品の状況。
③広域的な相互応援体制が、現在どのようになっているか。
④兵庫県西宮市が開発した「被災者支援システム」があるが、導入・運用に ついての考えを聞く。

A

①南部地域において、設置する場所、スピーカーの向きによる音の伝達の調査を行い、1基増設した。広報活動は防災行政無線のみならず、地域防災計画で定めている広報手段で、ケーブルテレビ、サイレン、広報車による広報、地区委員への伝達等、災害時の状況に適した対応をしていく。
②発電機、投光器、マット等を配備。食料と飲料水については、3箇所の



神明にある災害備蓄倉庫

防災倉庫に備蓄。組み立て式仮設トイレは、11台備蓄。

③愛知県が中部圏の県と大規模な災害が発生した場合に応援する協定を締結している。水道や消防者や消防本部等で相互応援については、現時点では、導入することはない。

④既存の住民情報システムのデータを元に被災者支援は可能と考えている。

Q. 県道春日井稲沢線及び高添地区町道改修は

A. 伊勢山交差点東側の整備は愛知県に要望していく



大口 司郎 議員

Q 伊勢山交差点から春日井方面に向かう一部区間の歩道整備について、都市計画マスタープランには、一部の区間について歩道部の確保等道路改良を促進します」と、記載されているが、今後どのように進めて行くのか。

高添地区町道改良工事がいよいよ本年度より平成26年を目標年次として

始まるが、南方向北名古屋市に入り、その先はどのように考えているのか。高添地区は、今後は住宅地、工業地、公共公益施設の立地の受け皿として、非常に有望な地域であり、10年先を見据えた時、重要な幹線になるのでは、と考察するが。

A 県道春日井稲沢線の一部区間が都市計画道路となっていないのは、名古屋空港へのアクセス道路として早期に整備促進を図る必要があったことが、伊勢山交差点までの都市計画決定の背景である。

伊勢山交差点より東の区間は、通常の道路改良により整備可能と見込まれたことが都市計画決定されなかった背景と考える。また、当該区間の今



1日も早い歩道の幅幅を

後の整備については、町内を通過する幹線道路でもあり、その時々々の交通事情に見合った適正な維持管理・整備について、管理者である愛知県に要望していく考えである。

町道53号線の現在の整備計画は、用地取得済みの区間に限ったものである。その先の計画については、「都市計画マスタープラン」の中で、道路ネット

トワークの将来の有るべき姿として明らかにしているが、具体的な整備計画は無い。

また、高添地区の将来の土地利用と町道53号線の整備とは直接的な関連は無い。あくまでも、これまででの国道41号線、県道豊山西春線の整備による、下青山地区の町道ネットワークの再構築が主な目的である。

Q. 重度障がい者施策の現状と計画を聞く

A. 障がい者の生活施設は満床状態にある



今村 一正 議員



Q 近年、障がいの多様化、重度化と同時に高齢化が目立ってきました。第3次計画に合わせた次の3点について計画を聞く。

- 1 障がい者の親亡き後の対策こそ行政の責任
- ① 施設整備の対策は
- ② 障がい者の権利擁護は
- ③ 心身障害者扶養共済制度の啓蒙計画は
- 2 重度障がい者のショートステイ対策は
- 3 障がい者（児）の紙おむつ給付の拡大を
- ① 県内自治体の状況は
- ② 障害者・療育手帳の級による支給への変更は
- ③ 支給対象病名を広げる計画は

A ①グループホームなどの障がい者の生活施設は、数少ないうえ、満床状態にある。圏域外の施設サービス事業者との連携・新規参入の促進が課題である。親亡き後の障がい者の権利擁護は「成年後見制度利用支援事業」により対応できる。県心身障害者扶養共済制度の紹介、加入促進に努める。

②ショートステイは、周辺市町にも事業者が少ないのが現状であり、事業者との連携・強化を図り、利用希望者の受入れ面での調整に努める。
③紙おむつの給付は、障害起因の病名との関連性を対象としており、級によって一律基準とする考えはない。なお、日常生活の便宜を前提に、同程度の疾病までの運用基準での検討を行う。

Q. 行政サービスの見直しを

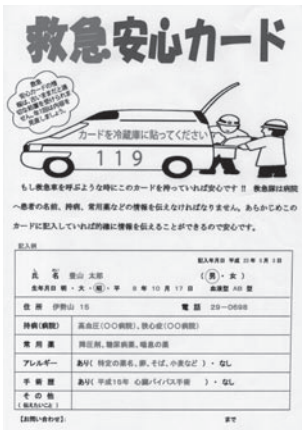
A. 『協働のまちづくり』の実現に努める

Q. 『協働のまちづくり』の実現に努める

Q 町を取り巻く情勢は大きく変わってきた。自助・共助・公助の役割分担を検証して、行政サービスの見直しとスリム化を図っていくべきであると思うが見解を聞く。

A. 町を取り巻く情勢は大きく変わってきた。自助・共助・公助の役割分担を検証して、行政サービスの見直しとスリム化を図っていくべきであると思うが見解を聞く。

A 協働によるまちづくりは、活発な町民の皆さんの活動が下の実現に向け努める。



命を守る安心カード

Q. 公平な町政は地域力アップから

A. 新たなまちづくりの担い手を 発掘していく



安藤 春一 議員

Q 地区委員会で自治会の退会問題の質問があったと聞く。退会をしないような指導をしたか。個人や地区での対応にも限界がある。

「大人の自己中」を放置すれば、自治会の崩壊に繋がる。自治会が無い場合、公平な町政運営は困難となる。

有識者懇談会で高い評価を得た「新栄小学校区コミュニティ(略)」。

正に地域協働の原点、地域力アップの貢献度は高い。他の小学校区に対し、組織立ち上げの環境作りや助言を行ったか。

A

自治会から

の加入の相談には、災害時は隣近所のつながりが重要

であることを説明いただくように、案内をしている。

他の小学校区からコミュニティ推進協議会の設立の動きはなく、町から具体的な働きかけはしていない。

引き続き、多様な町民の町政への参加機会を拡大し、幅広い年代から新たなまちづくりの担い手を発掘していく。



自治会加入を呼びかけるチラシ

Q. 名古屋空港の 特性等の活用を

A. 県が行う

調査結果により 判断する

Q

広域防災対応能力や気象条件等、空港の特性・優位性をPRして存在を内外に示す努力を。空港を軸に航空宇宙産業等の調和のとれた発展策を話し合う「空港活性化審議会」を設置したらどうか。

にどのような影響があるのか把握できないので、県が行う調査の進展などにより対応方針を固めたい。

新たな審議会等の必要性については、現行の各種審議会の活用で十分と考える。

A

町としても大規模災害の発生に備

えた基幹的広域防災拠点が必要と考えており、県営名古屋空港周辺地域は有力な候補地であると認識している。

しかし、現状では、町





Q. 難聴者の「聴こえ」 助ける磁気ループで社会参加

A. 磁気ループの研究は必要と考える

野崎 隆子 議員



窓口に設置されている「耳マーク」

Q 聴覚障害の方は、情報伝達・社会参加等が希薄に。車椅子マーク同様、筆談しますという「耳マーク」の設置状況を

問う。

65歳を超えると半数近くが難聴に。聴こえにくくと講座やグループ活動などに足が遠のく。音声を磁気に換え補聴器で聴くと驚くほどきれいに聞き取れる「磁気ループ」の研究と検討を

A 現在、聴覚等障害者は28人。「耳マーク」は、意思疎通への配慮として、以前に役場窓口や

施設に設置していたが、長年の使用・汚損等により、住民課、しいの木と社教センター窓口だけとなった。今後、必要性の高い窓口への再設置を検討する。

磁気ループは、マイク音声をループのアンテナで、磁気信号に変換し、クリアな音声として補聴器や専用受信機に送るシステムであり、会議・講演会・窓口等で難聴傾向の方への「聞こえ」の支援効果を期待できる。なお、場所ごとの多様な機器種別があり、それぞれ実用性、活用効果等から、詳細検討をするための研究が必要と考えている。

Q. 一部事務組合の 管理者と

議員の報酬のあり方

A. 協議が整い次第 報告する

Q 複数の自治体が行っている組合の管理者は町長や市長が、議員はそれぞれ

の議会から選出され、年報酬を受けている。町長などは市町で月給が支給されており「二重取り」議員は日額制が妥当の指摘を受け、構成団体

などの協議を約束されたがその後の対応を伺いたい。

A 本町から議員を選出する部事務組合は、8組合あり、旧西春日井郡で構成する二部事務組合においては、管理者報酬、議員報酬ともに年報酬となっている。

西春日井広域事務組合会議の中で報酬について話したが、組合議会での論議も必要であり、報告できる内容には至っていない。今後、協議が進んだ段階で報告する。

Q. 国民健康保険証のカード化を

A. 24年9月からカード化する



尾野 康雄 議員

Q 豊山町で現在使用されている、国民健康保険証の個人別カード化を提案する。小さくなると紛失しやすいなどのデメリットは考えられるが、家族で同時期に別々に使用できる。又、家族構成の記載がなくなる、などのメリットがある。近隣の市町では、平成18年頃からすでに実施されている。どのような考えで当町はカード化しないか。

A 国民健康保険の被保険者証のカード化は、当初、平成22年度の実施を予定していた。しかし、当時、平成23年1月からの稼働開始を予定した「新・住民情報電算システム」に、被保険者証のカード化への移行対応システムが組み込まれていた。そのため、システム開発経費の多大な重複支出を避けるため、この新住民情報システムの稼動以降、被保険者証

の一斉更新の時期まで、カード化を延期した。このため、今回の被保険者証の更新時期にあたる、平成24年9月からカード化する。

国民健康保険被保険者証			
有効期限	平成	年	月 日
記号番号			
世帯主	住所	〒	
	氏名	男・女	
生年月日	昭平	年	月 日
保険者番号並びに保険者の名称及び印	2 3 0 5 5 7	一部負担金の割合	3割
豊山町	電話番号 <0568> 28-0001	豊山町	
交付年月日	平成	年	月 日

24年9月から
カード化する保険証



1年前のあの質問追跡! どうなったあの答弁

定例会での一般質問が、1年後どのように反映されたか追跡してみた。
今回は、昨年6月定例会の中から選んでみた。

「ライトダウンキャンペーン」への取組を

21年9月定例会での質問に対し、22年度より参加するとの答弁であった。22年度の取組と23年度以降の取組はどのようなか。

答 弁

「キャンペーン」に参加

夏至と七夕の日に参加する。ノー残業デーに指定し、可能な限り消灯する。市内の多くの企業も呼びかけに協力との回答。来年以降も実施する。

どうなった

昨年に続き今年も参加

昨年に続き、役場だけでなく、企業・商工会にもご協力いただき実施した。今年は震災による一層の節電が求められたため「昼も夜もライトダウン」として8月末日まで昼・夜それぞれ2時間実施予定。「広報とよやま」7月号で住民にも呼びかけた。

町道4号線に横断歩道と押しボタン式信号を

アピタの开店により4号線の交通量が増大。交通弱者優先のために、横断歩道の増設と、押しボタン式信号を設置してはどうか。

答 弁

横断歩道は設置 押しボタン信号は困難

当該地点については、横断歩道と押しボタン信号設置の要望が出ている。西枇杷島警察から県に書類が提出され7月には結論が出る。しかし、押しボタン信号は既設信号機との関係で困難である。

どうなった

昨年秋に横断歩道を設置

7月末に県公安委員会の結論を受けて、8月に横断歩道が設置された。押しボタン信号は困難。

町の封筒等に広告を

他の市町の封筒には、民間事業者の広告がある。町財政も苦しくなってきた。経費節約のためにも封筒やタウンバスに広告を入れてはどうか。

答 弁

10月をめどに実施

封筒への広告は使用中の封筒を整理して10月をめどに実施する。タウンバス等は業者と協議する。

どうなった

封筒は本年4月から実施

封筒については、昨年10月に広報で業者募集を行い、本年4月より実施した。経費節約に貢献している。



編集委員が町民のみなさんに聞いた

読んでいますか、議会だより いつも読んでいるが大半、隅から隅まで読む人も

1.知っているか 知っている人がほぼ100%。

2.「知っている」では ①いつも読んでいると答えた人が圧倒的、②時々読む、③たまに目を通す
④知っている人の記事はよく読む、⑤見出しを見て内容を読むという声があった。

3.何かご意見は ①特にない、②参考になることもある、③もう少し分かりやすく、④もっと柔らかない記事を、
⑤追跡記事も、⑥議会としての方向付けや議員としての考えを示すことも必要ではとの意見があった。

色々なご意見、
大変参考になりました。
ありがとうございました。

ジャンケンポン

折り紙に感謝

河野 弘子

ふれあい広場も2年が過ぎ、当初のポケ対策?も世代を超えた楽しさ、喜び、特に孫世代の元気さや柔軟な発想等、毎回教えられ、感激している今日この頃です。

さる、5月14日付中日新聞の記事で、気仙沼市の「キッズRoom・おひさま」の事情を知り、ジャンケンポンで折り紙のピカチュウその他を送りましたところ、5月24日思いもかけず写真入の丁寧なお手紙を頂戴し、あつい思いで胸がいっぱいになりました。今後もお手玉・万華鏡・折り紙等を予定しています。

皆さん、東北に元気なエールを送りましょう。



キッズROOM おひさま


バウンドテニス



安藤 幸子

第2土曜日、アリーナにはバウンドテニスを楽しむ子どもたちの歓声が響いています。あいさつ、準備体操、素振りをした後は、各コートに分かれ、先生方の手投げのボールで打つ練習をします。サーブやレシーブができるようになると試合形式で打ち合います。

私がふれあい広場の手伝いをするようになって7年、十分なことはできませんが、生涯スポーツとして続けてくれることを願っています。



 広報
編集委員

委員 長 栗田 昌子

副委員 長 今村 一正

委 員 水野 晃/坪井 武成/安藤 春一